

グループトークで初例会

今年の幕開けは例会のグループトークから。6,7 人ずつの3グループに分かれ、英語で語り合いました。テーマは年末年始の Holiday News と New Year' s Resolution。全体の中からトークの一部を拾いました。



会員の一人は長年、世界史を勉強しており、日本史の書籍も含めこれまで数十冊読んでいる、とのこと。

なぜ、世界史を学ぶのか、というほかの会員の問いに「歴史を学ぶと IN で話して下さる外国人の話の内容が理解しやすくなる。歴史の中に現在を読み解くヒントがあ

り、今の世界を見つめなおすことができる」と答えていました。他のメンバーから「I admire you!」と感心する声がありました。

お正月、テレビ番組のなかで、ある神社の方が

「おみくじを引いて「凶」が出たら「吉」が出るまで引き続けてください。少しお金がかかりますが、それが神社の修復費に役立ちますので」と話していたそうです。神社の修復はお金がかかりそう。

正月、年老いた母がいる福井県の実家に帰った人は、福井は素晴らしいところとお国自慢の後、「どうぞ訪ねてお金を落としてくださいね」と笑っていました。ジャズ喫茶経営の面白さを説明する人もありました。

伝統的な日本のお正月に関する話題もありました。

スマホで写した玄関の美しい正月飾りの写真、孫に着付けしてあげたかわいい着物姿の写真を見せて、みんなで目を細めていました。また、孫たちと一緒に門松を手作りした、ゲームを楽しみ、鏡餅や串柿の意味について語りあった、

文楽を鑑賞した、静かに茶道を楽しんだ、という人たちも。別の人には、翌日に



「英語は楽しみながら学びたい」という人も

開く外国人との新年会のプランを楽しそうに話していました。

いつもみんなの話題になるのが健康や親の介護の問題。

あるメンバーは「今年は健康につながる英語のこ

とわざを集めて覚えていきたい」と意気込みを語り、

Laughter is the best medicine.

Nature is the best physician.を紹介しました。

田舎の実家の両親が亡くなったあと、後始末に大変苦労している、という深刻な話がありました。

ある人は「高齢の兄などが病気でほとんど、意識がないまま長期入院中。本人らは尊厳死を望んでいたが、いざとなると家族の決断がつかず、延命治療で生きている。家族に迷惑をかけないよう、今年はピンピンコロリと逝ける方法を研究します」。



スタートした新年初例会

「もう年なので抱負は特になし。残りの人生はただ、人に優しく、親切に生きたい」と人生の真理を悟ったような人も。

「今年は英語を話すことをもっと楽しみながらやっていきたい」、「ゴルフを頑張る」、「年末年始、映画を楽しんだ」、「友達が働くレストランがミシュランの星一つを取った」など意欲的で、楽しい話もありました。

それぞれに事情を抱えながらも、みなさん、総じて今年も頑張る意欲は健在のようでした。

以上